

さっぽろ環境インタープリター養成講座

第6回「W 圭子の夢は夜ひらく?!」

事業名	さっぽろ環境インタープリター養成講座 第6回「W 圭子の夢は夜ひらく?!」
実施日時	平成 29 年 10 月 27 日(金)18:30~20:30
実施場所	鴨々堂 (札幌市中央区南 8 条西 2 丁目)
参加人員	15 人
見学の様子	<p>【石川圭子氏講座】～都市型自然エネルギーの実践～</p>  <p>建築物の耐用年数は何年か。という問いかけから始まり、柱として使われている木材の質から建築物解体後のリサイクルの話へと建築の歴史に伴って大きな時間が動く。はっとさせられたのは、現在繁栄している都市の姿が、建築物の耐用年数が過ぎた頃にどのような変化をもたらすか、というところ。建築、インフラは先を見据えた仕組み作りと持続可能な計画が必要である事を学ぶ。</p> <p>古民家鴨々堂を舞台に実践、研究中の、都市でも利用できるペレットストーブ、ロケットストーブ、小水力発電等の様子についてお話しされた。</p> <p>【磯貝圭子氏講座】～女優が伝授！伝え方の秘訣～</p>  <p>目を閉じて周辺の音を意識するところから講座が始まる。「音」に意識を集中することで、人の話に集中する素地ができる。次に役者訓練で使われる手法によるワークショップへ移行。まずは「最近印象に残った出来事」について、ペアになった相手の話をお互いによく聞き合う。その後聞いた話を「自分が最近経験した話し」として参加者全員の前で発表。他人の話しを理解しながら聴く姿勢と、共感する事、分かり易く他者へ伝達するポイントを学ぶことができた。不安げな表情の参加者の顔が講座の終わりには輝く笑顔になる講座であった。</p>

<石川圭子氏講座アンケート>

- ・ 建築を通して自然エネルギーを考えることはとても大切なことであると再認識した。
- ・ 目先の利益やコストを優先すると長い目で見たときに決して合理的ではない結果を生み出すのだと思った。
- ・ マンションを購入した時にはその寿命と解体まで考え、個人ではなく社会として循環していく流れを作る必要があると感じた。
- ・ これから人口減少に伴う空き家（戸建）のリサイクルのことも気になった。

<磯貝圭子氏講座アンケート>

- ・ 誰かに何かを伝えるには、まず人から話を聞く段階でその方が何を伝えたいのかを感じ取ること、そして自分が心を動かされることが大切ということを教えていただいた。
- ・ 人の話をよく聞くことで、人に伝えるコツがつかめる、というのは今日の一番の気づき。
- ・ 伝え上手は聞き上手。これから更に色々な人の話を聞き、自分の中で咀嚼して伝えられるようになりたい。